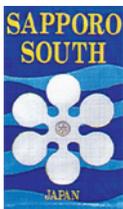
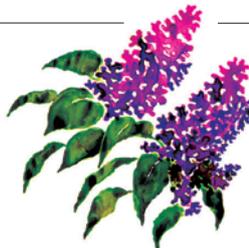


札幌南ロータリークラブ会報

3
9
MON



■本日のプログラム
北海道の海上保安行政
海上保安庁第一管区海上保安本部
本部長 石崎 憲寛 氏
例会前の音楽 (ピアノ 松本 愛絵里さん)
メンデルスゾーン 甘い思い出、信頼
食卓の音楽 シューベルト 弦楽四重奏曲 14 番



UNITE FOR GOOD
よいことのために手を取りあおう
2025-2026年度 RI会長
フランチェスコ・アレツツォ

札幌南ロータリークラブ スローガン
なごやぎの70年 つなげよう次世代へ

「札幌南RCの歴史と伝統を未来につなぐために」

国際ロータリー第2510地区会員増強委員会委員長 嵯峨 義輝 パストガバナー



札幌南ロータリークラブは、長い歴史の中で地域社会に深く根ざし、多くの奉仕と友情を積み重ねてこられました。70名を超える会員基盤を安定的に維持されていることは、クラブの求心力と信頼の証であり、地区内でも屈指の存在感を誇っています。この「札幌南RCらしさ」とも言える品格と温かさは、創立以来の先輩方の努力と「なごやぎ」精神の結晶であり、今もなおクラブの大きな強みとなっています。

しかし、全国のロータリークラブと同様に、若年層の入会難や会員構成の偏りといった課題が見え始めていることも事実です。社会環境の変化、働き方の多様化、価値観の多元化など、若い世代を取り巻く状況は大きく変わりました。彼らがロータリーに対して「敷居が高い」「自分が貢献できるイメージが湧きにくい」と感じるのは、決してクラブの魅力が不足しているからではなく、伝統の重みが時に「心理的距離」として映ってしまうからです。

この距離を縮めるためには、ロータリーの価値を若い世代の言葉で伝え、参加しやすい接点を丁寧に設計することが重要です。そのためには、貴クラブが実施したウエルカム例会とかテーマ性のある卓話を通じて札幌南クラブの雰囲気や人の魅力に触れてもらう機会を増やすことも必要です。「衛星クラブ」のような若年層への敷居の低い仕組みの検討も一考に値するのではないのでしょうか。

一方で、社会環境の変化や働き方の多様化により、クラブ運営の在り方そのものが問われる時代になりました。会員数が維持されているからこそ見えにくい課題もあります。例会の参加率、委員会活動の負担感、奉仕活動のマンネリ化、情報発信の停滞など、クラブの活力を左右する要素は多岐にわたります。これらは決して「問題」ではなく、むしろ次の成長段階に進むためのヒントと捉えるべきものです。

クラブ活性化の鍵は、「参加したくなる場づくり」にあります。例会が「義務」ではなく「楽しみ」になること、委員会が「負担」ではなく「挑戦の場」になること、奉仕活動が「作業」ではなく「誇り」になること。この転換が起きたとき、クラブ全体に新しいエネルギーが生まれます。

そのためには、いくつかの視点が重要です。

- **例会の質を高める工夫** 卓話のテーマ性を強めたり、会員同士の対話の時間を設けたりすることで、例会はより魅力的な学びと交流の場になります。
- **委員会活動の“見える化”と役割の細分化** 大きな役割を少人数で担うのではなく、小さな役割を多くの会員で分担することで、参加のハードルが下がり、関わりが広がります。
- **奉仕活動の再設計** 地域のニーズを改めて見つめ直し、クラブの強みを活かした活動に磨きをかけることで、会員の誇りと達成感が高まります。
- **情報発信の刷新** クラブの魅力や活動の成果を内外に伝えることは、会員のモチベーション向上にもつながります。

活性化とは、決して大きな改革を意味するものではありません。日々の例会や委員会の中に、小さな変化を積み重ねることが、クラブ全体の活力を育てます。札幌南ロータリークラブには、長い歴史で培われた品格と結束があります。その強みを活かしながら、時代に合わせて柔軟に変化する姿勢こそが、次の10年を形づくる力になると信じています。

会務報告

○2025年4月から当クラブが世話クラブを担当していた、米山奨学生の斉暁形さんが本日の例会が最後の出席となり、ご挨拶いただきました。



会務報告

- (3月2日 定例)
- 70周年記念事業「社会奉仕事業」について
- 1/26新春家族会収支報告について
- 4/13夜間例会について
- 会員推薦書審議 1件
- クラブ旗について
- 2026年度青少年交換学生カウンセラーについては、杉澤謙次郎会員とする。
- 退会届2件受理
- 札幌市内ロータリー交換学生支援委員会について
- 第4・第5グループ合同IMについて
- 70周年記念事業「米山梅吉記念館」視察について

ニコニコBOX

地区会員増強委員長 嵯峨 義輝 パストガバナー	しばらくぶりの訪問です。 宜しく申し上げます。
荒井 竜一 会員	本日の講師にRI第2510地区会員増強委員長 嵯峨義輝パストガバナーをお迎えして
武部 實 パストガバナー	嵯峨パストガバナーの卓話を楽しみにしてま いりました。
山上 晃広 会員	嵯峨パストガバナーをお迎えして
平 昌夫 会員	嵯峨パストガバナーを講師にお迎えして
池田 達昭 会員	国際ロータリー第2510地区会員増強委員長の嵯 峨パストガバナーをお迎えして
滑川 真永 会員	公益財団法人ロータリー米山記念奨学会理事 嵯峨義輝パストガバナー、米山記念奨学・学 友委員会では、大変お世話になっております。
朝妻 史江 会員	米山奨学生の齊さんが無事卒業、今日が最後 の例会です。 皆さん1年間ありがとうございました。
鄭 眞旭 会員	2月7日と2月21日児童養護施設イルミネー ション点灯のお手伝いに参加して頂き、あり がとうございました。 子供たちも大変喜んでおり、楽しい時間にな りました。ありがとうございました。

第3146回例会

3月2日(月)くもり

司会	荒井 竜一 会長
ゲスト	RI第2510地区会員増強委員長 嵯峨 義輝 パストガバナー
米山奨学生 出席率	齊 暁彤(サイ ギョウトウ) さん 76名中欠席23名 (75.71%出席免除8名)

ニコニコBOX 3月2日分	43,000円
2025-26年度累計円	896,000円
2025-26年目標金額残	504,000円

市内他クラブプログラム

3月10日(火) 札幌 西	ゲスト卓話「昨今の留学動向」 札幌国際大学教授 保浦 聡 氏
3月10日(火) 札幌はまなす	クラブフォーラム (美唄RC 大坪誠治様をお迎え して、職業奉仕の卓話)
3月10日(火) 札幌 清田	夜間例会「米山奨学生送別会」 ※受付なし
3月10日(火) 札幌大通公園	原則 毎月第1・第3週火曜日のみ 例会を開催しています
3月11日(水) 札幌モーニング	家庭集会報告
3月11日(水) 札幌	移動夜間例会 18:00~ 於)札幌プリンスホテル国際館 パミール ※受付 12:00~ 12:30 札幌グランドホテル
3月11日(水) 札幌真駒内	休会(理事会裁量) ※受付 12:00~12:30 ホテル ライフオート札幌
3月11日(水) 新札幌	未定
3月12日(木) 札幌 東	13日(金)に繰下げ移動夜間例会 「職場訪問」18:00~ 於)北海道庁旧本庁舎赤レンガ庁舎 ※受付 12:00~12:30 札幌 パークホテル
3月12日(木) 札幌 西北	ゲスト卓話 医療法人新産健会LSI札幌クリニック 山本 秀幸氏
3月13日(金) 札幌 幌南	定例会
3月13日(金) 札幌ライラック	原則 毎月第1・第3週金曜日のみ 例会を開催しています
3月14日(土) 札幌 手稲	ゲスト卓話 NPO法人フードバンクイコロさっぽろ 片岡 有喜子 様
3月16日(月) 札幌 北	休会(国民の祝日が含まれる週 のため) ※受付なし

ガバナー月信

国際ロータリー第2510地区ガバナー月信は
こちらからご覧いただけます。



次週例会 2026年3月16日(月)
休会(国民の祝日が含まれる週のため)

次回例会 2026年3月23日(月)

社会奉仕委員会 支援金贈呈式
社会福祉法人北海道いのちの電話
特定非営利活動法人
障がい者就労支援の会「あかり家」
公益財団法人ふきのとう文庫
公益財団法人北海道盲導犬協会